皆が笑顔になる、「フェアトレード」便り №10 田中惣一商店 2023.9.1

＊＊＊「フェアトレード」とは、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することで、生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「取引のしくみ」の事です。＊＊＊
（一方的な寄付ではない持続可能な取り組みです）

＊＊＊「エシカル消費」人・社会・環境に配慮した消費活動。「フェアトレード」商品を買うこともそのひとつ。大切な人に贈るギフトはサスティナブルなものに。

＜館山フェアトレードタウン推進委員会としての活動＞8 月の取組をご報告しますね！！

「和綿の種育てよう、Tシャツまで作ろうプロジェクト」・・・今年、３年目。種を植えてから、プランターや畑での「和綿」、実がはじけて、可愛い「綿」が見えてきました。白い綿が、まだ、成長しているので、ふわふわ、ダラーンとなってから、「綿」を取りましょう。我が家は、プランターですが、８月３０日時点で、87 個、取れました。皆様の様子、教えて下さいね。今年も、11 月頃、ワークショップが出来ればと思います。楽しみにして下さいね。去年の和綿とオーガニックコットンで作った着心地良い T シャツ、販売していますので、ご希望の方はお知らせ下さいね。（今年は生成色の無地）＊ビーチクリーンも参加中

・・・館山から、千葉へ。８月１日～７日まで、千葉そごう２階のイベントスペースにて「ＳＤＧｓ　ライフスタイル展」に「田中惣一商店」として出店しました。ちばフェアトレードの山野さん、千葉商科大学の滝澤先生、千葉市の寺田さんもみなさんで、来てくださいました。また、「ワクセル」さんや一緒に参加した店舗さんとコラボレーション出来、千葉市の方々に館山市をＰＲし、有意義でした。早速、８月２４日には合同会社「アルコ」大阪谷さんと「イノシシとキョンの革で作る小物雑貨」というワークショップも開催しました。（害獣のイノシシやキョンの問題点を教えていただきながら、イノシシ人形とコードクリップを作りました。）９名の参加、後からも教えてと、人気です。

・・・9 月 27 日には、熊本から、日本で初めて、世界で１０００番目で「フェアトレードタウン」に貢献した「明石祥子さん」がいらっしゃることになりました。まだ、日本では６都市です。（熊本市 2011、名古屋市 2015、逗子市 2016、浜松市 2017、札幌市 2019、いなべ市 2019）・・・まだ、ご紹介出来ていない方々がいらっしゃるので、みなさまにお会いして頂きたいと思います。地元とフェアトレードがしっかりタッグを組んで、頑張っている館山の様子も　見て頂きますね。応援して下さいね！！！他にも、「フェアトレードタウン」を目指して、各地各市（千葉市・鎌倉市など）で、活発な動きがみられます。

＊＊＊「フェアトレードタウン運動」とは・・・「まちぐるみ」つまり、まちの行政、企業・商店、市民団体などが一体となって、フェアトレードの輪を広げることで、不利な立場、弱い立場に置かれた途上国の生産者の人たちの自立や環境保全に貢献しようとする運動です。「フェアトレードタウン基準」世界基準 5 つ+日本オリジナルとして「地域活性化への貢献」があります。格差が拡大する一方の日本においてもフェアな社会・経済を築こうという私たちの願いを反映したものです。＊＊＊「思いやりのある町」を目指しましょう！！